

地域に学び・語り継ぐキャリア教育

本年度本校は、愛知県教育委員会から「地域に学び・語り継ぐキャリア教育」推進事業の委託を受けました。そこで、事業主題を「人や地域とふれあい、自分で未来を切り拓き、たくましく生きる児童の育成」と設定しました。本事業を系統的にキャリア教育を進めていく核として位置付け、地域の方を招いて体験活動や講話などを実施する中で、子どもたちが働くことや自分の生き方について考えを深める場としています。そして、その深めた考えを下級生に語り継ぐことで、子どもの発達段階に応じたキャリア教育を推進していこうと考えています。

トマト作り

栄南学区には、鍋田干拓があり田畑が広がっています。そこで、地域の特産物であるトマトに焦点をあてることにしました。地域のトマト農家の方を講師にお招きし、5・6年生にトマト作りを通して農業について考えさせる機会としました。4月下旬に苗植えを行い、5月・6月に脇芽をかい取り、受粉作業をしたりして世話を行いました。6月下旬には、トマトを収穫することができました。講師の方には、何度も学校に来てもらい、世話の仕方を子どもたちに教えてもらいました。また、講話で農業の楽しさや大変さも語ってもらうことができ、子どもたちに、働くことの意義を気づかせることができました。7月中旬には、JAあいち海部南部営農センターのトマトセンターを見学することもできました。



【4月下旬 トマトの苗植え】



【5月中旬 トマトの世話】



【6月下旬 トマトの収穫】



【トマトセンターの見学】

トマトを使ったケーキ作り

7月初旬には、5・6年生が自分たちで栽培したトマトを使って、チーズケーキ作りに挑戦しました。講師には、間崎にある万寿園・ルグランのパティシエの方に来てもらいました。子どもたちは、実際にお店で販売している農林水産大臣賞も受賞した「みょうなとまと」というケーキを作りました。味、色合い、形など、上手に作ることができ、子どもたちは大満足でした。



【ケーキ作り】



【ケーキの試食】

サツマイモ作り

毎年行っているサツマイモ栽培も、高学年が地域の方から作り方を教えてもらっています。高学年は、低・中学年に自分たちが学んだことを伝え、異学年交流の場としています。

6年生は、収穫したイモで菓子を作り、講師の方をお招きして抹茶会を11月に開催しています。



【サツマイモの苗植え】



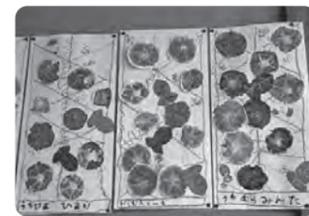
【抹茶会】

十四山東部小学校では、

「えがおいっぱい」「くふういっぱい」「ちからいっぱい」を合い言葉に、全校児童175名が、元気に活動をしています。

本年度は「おもいが広がる造形活動をめざして～「人」「こと」「もの」との出会いやかかわりを通して～」というねらいで、図画工作科を中心に取り組みを進めています。

他教科や道徳、学校や地域の行事とのかかわりを通して、地域・家庭・学校が、連携しながら様々な教育活動に取り組んでいます。



【1年生】

生活科で育てたアサガオの花を使って、たたき染めをしました。



【2年生】

国語科のスミイと関連させて、スタンプによるオリジナルTシャツを作りました。



【1～6年生の縦割り ふれあい班活動】

ふれあい班の旗を協力して作りました。また、大空をキャンパスに見立てた共同制作にも取り組みました。



【3年生】

アートカードを使ってゲームをしながら作品鑑賞をしました。



【4年生】

アートカードを鑑賞して、感じたことから発想し、お話をしました。



【5年生】

作品についてインタビューをしながら鑑賞しました。



【6年生】

修学旅行では、自分たちでデザインしたTシャツを着て、ハイチーズ!

地域の方とともに…



【学校保健委員会】

薬剤師の先生をお招きし、PTA役員の方々と共に健康課題について話し合いました。



【歯科衛生士さんによる出前授業 3年生】



【サツマイモ栽培】

全校生徒で、サツマイモ栽培に取り組んでいます。



【田植え体験5年生】

JAの方に熱心に教えていただきました。